寺田校長の広聴・高調コミュニティ広場

「ポジティブ行動支援」という言葉をお聞きしたことがありますか。今年度より町内７小中学校で行っている取組です。全ての児童が安心して学校生活を送ることができるよう、行動面から肯定的に支援していく生徒指導の手法です。

神石小学校では、二学期から「神石っ子すバラしい！プロジェクト」を実施しています。望ましい行動を教職員と児童とで共有し、児童自らが目標に向かってより良い選択をすることができるようにします。そして、望ましい姿を肯定評価し、さらなる高みを目指そうとする態度を育てています。次に示す表は、望ましい行動の具体的な姿です。

神石っ子 すバラしい！プロジェクト

	かしこい子	さわやかな子	たくましい子
低学年	・たのしんで がくしゅう しよう ・どくしょを たのしもう	・じぶんからあいさつ・へんじをしよう ・「ありがとう」「ごめんなさい」をつたえよう ・ふわふわことばをつかおう	・えがおで すごそう ・そうじの しかたを おしえてもらいながら、きちんと しよう
中学年	・頭をやわらかくして考えよう ・ひらめいた考えを大切にしよう ・読書を楽しもう	・いつでもどこでも、自分からあいさつ・返事をしよう ・「ありがとう」「ごめんなさい」をつたえよう ・ふわふわ言葉を使おう	・友達のよいところを見つけて、前向きに取り組もう ・協力して掃除をしよう
高学年	・いろいろな方法でやってみよう ・ひらめいた考えを伝え合おう ・じっくり本を読もう。	・いつでもどこでも、自分からあいさつ・返事をしよう ・「ありがとう」「ごめんなさい」をつたえよう ・ふわふわ言葉を使おう	・仲間と協力して、ともに行事に取り組もう ・リーダーとして責任を持って、掃除をきちんしよう

がんばっている姿が見えた時には、即時評価し、シールを渡しています。教室に貼っている評価シートはシールでいっぱいになっています。また、写真や映像で児童一人一人の頑張りを校内掲示等で広めていきます。

ぜひ、ご家庭でも、ほめて育てる「ポジティブ行動支援」を実践し、望ましい行動ができる子供たちを学校とともに育てていきましょう。